

(三) 福岡縣令附則二時の彈劾的決議作製件

（推舉體）

本田

四一

福岡縣令附則二時の彈劾的決議作製件  
國レ婦女児童、利用多循省、立候他人、  
紛糾于其等ノ禁ノ犯ノ有ハ拘固、外人ト、  
成多シテ各々房協同件や小作同件ノ幹部、  
紛糾が起ナリテ平モ是モ出早ナリコトニ成タス  
標ナ縣令ハ無産陸事ノ公童ノ阻害スルノ大ナ  
シ下甚ニヤセ、ア時代為善ノ惡法ナリト認ムル  
カ故ニ内務大臣福岡縣令事、該縣令之撤廢  
ノ要求ヲ為サムトスルモノアリ。

（清黑一

大阪府於テモ同様ノ府令發布二件参考案

署長ニ譲内サレタト同仁夕加調ノ見夕力  
ト贊同スルモノアリ大阪聯合會平井夫人  
之二名、自分モ左標ナキヲ聞メテ特高縣  
長ニ會フ、實イタ如本有カク斯ケル意見ノ  
ガメラタリ、テ署長ノ意見ヲ聽ケタ事ナリ  
府ヘシテ斯ケ以規定ヲ去ス事ニハ成ナシ  
イト谷ヘシタクノ依テ日本ト恩フト谷  
セリ討伐、結果垂頭ヲ得テハ威文ノ如  
卒レ内務大臣及福岡縣令事ニ提出人未  
可考、（御草擬議ノ結果揚提可考通）  
決議

世論既ニ流傳、蒙法檄廢ニ決シ政府又云國  
ノ國志運動必至通し易傷組合法ヲ制定ヒト